

奈良の地で一学び創造、学び発信。

# 奈良教育大学大学院教育学研究科

## 平成28年4月、教育学研究科を改組します。

本学大学院教育学研究科では、基礎的・基本的な知識と技能を重視しつつ、21世紀を生き抜く能力を育む「新たな学び」に対応する高度な教育実践力育成のため、学部・大学院における学びと現職教員研修を見通した「課題探究型学習」を支える教育を展開し、実践型教員養成機能への質的転換に取り組んでいます。

平成28年4月から、専門職学位課程においては、義務教育段階の学校教育の諸課題に焦点化した履修コースの設置を行い、修士課程においては、従来の学校教育専攻を改組して人間発達専攻に専攻名称等の変更を行い、学校内外の教育の営為ならびに、幼児期から青年期までを見通した人間発達の諸課題に対応します。

※大学院改組については、文部科学省に現在申請中であり、専攻名、入学定員及び内容については、予定であり変更する場合があります。

### 1. 入学定員の変更

次のとおり、各課程の入学定員を変更します。

(修士課程)

専攻名	入学定員		専攻名	入学定員
学校教育専攻	10名	➡	人間発達専攻	9名
教科教育専攻	40名		教科教育専攻	36名
合計	50名		合計	45名

(専門職学位課程)

専攻名	入学定員		専攻名	入学定員
教職開発専攻	20名	➡	教職開発専攻	25名

## 2. 大学院教育学研究科改組の全体像

現 行				改 組 後			
課 程	専 攻	専 修	入学定員	課 程	専 攻	専 修	入学定員
修士	学校教育	教育科学	10	教育・心理	人間発達	発達教育臨床（※夜間主）	9
		教育心理学					
		教育臨床・特別支援教育					
	教科教育	国語教育・日本語日本文化教育	40	教科教育	国語教育・日本語日本文化教育	36	
		社会科教育			社会科教育		
		数学教育（情報を含む）			数学教育		
		理科教育（文化財科学を含む）			理科教育（文化財科学を含む）		
		音楽教育			音楽教育		
		美術教育（書道、伝統文化・文化財を含む）			造形表現（美術・書道） ・伝統文化教育		
		保健体育			保健体育		
英語教育（異文化理解を含む）		英語教育（異文化理解を含む）					
生活科学教育	生活科学教育						
専門職学位	教職開発		20	専門職学位	教職開発	学校組織マネジメントコース 学習指導コース 生徒指導コース 特別支援教育コース	25
合 計			70	合 計			70

専門職学位課程のコースについては、入学後に自らの関心に応じて選択します。

※夜間主：改組後の人間発達専攻 発達教育臨床専修の専門科目は、18時～21時10分の夜間授業時間帯及び夏季や冬季休業期間などに開設する予定です。なお、修了に必要なその他の科目は、昼間及び夜間に開設されます。

## 3. 修士課程の改組の内容

### 学位授与方針（養成する人材像）

修士課程においては、専門領域に関する研究をもとに、修了までに以下の力量を身に付けることを求めます。これらの力量を獲得するとともに、所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に学位を授与します。

1. 幼児児童生徒の探究心を培うために、学びの原動力たる探究の魅力を伝えることのできる教育に関わる理論的・実践的力量

2. 学校教育・人間発達または教科教育に関する諸科学について、専門性を深めることができる研究的力量
3. 広い視野に立ち、自己の知識を絶えず振り返り、更新しながら現代の教育及び社会の諸課題に対応できる社会的力量

### 「学校教育専攻」を「人間発達専攻」に名称変更

「学校教育専攻」を「人間発達専攻」に名称変更し、人間発達に関わる教育諸課題の専門的知識をより深め、それを活用し、課題を探究し続ける力量形成を図ります。人間発達に関わる教育課題について、教育学及び心理学の視点、並びに特別支援教育及び幼年教育の視点から探究することにより、教育実践を支える高度な専門性を有する教員を養成します。

人間発達専攻には、次の二つの専修を設置します。

#### ① 教育・心理専修

学校教育並びに人間発達に関する教育学と心理学の基礎理論に基づき、学校組織の運営、カリキュラム編成や教育方法の適切性、人権教育や社会教育・生涯学習のあり方、及び児童・生徒の個人差のアセスメント(評価)に関する高度な知識と技能を習得することを目的とします。教育学及び心理学の両アプローチにより、とりわけ道徳や特別活動、総合的な学習の時間、生徒指導などの教科外の教育や、教科間をつなぐ課題探究型学習を構想し、実践する力を養成します。

#### ② 発達教育臨床専修

幼稚園および特別支援学校などの奈良県内外の現職教員をはじめ、働きながら教育臨床・発達支援に関する高度な専門性を身につけることを希望する者などのための夜間主の教育課程を特徴とします。幼児期から青年期までの子どもの発達を踏まえた、障害や不登校、いじめ問題など教育上の特別なニーズに対応する支援・指導のための高度な専門的力量を培うカリキュラムを中心とします。また、特別支援学校教諭としての高度な専門性(知的障害、肢体不自由、病弱の児童生徒への高度な指導力量と障害と発達に関する高度でかつ実践的な知識・理解など)を培うカリキュラムを含みます。

### 「実践的科目」の導入

教員としての教育実践力(課題把握力、子ども理解・指導力、教科指導力、職能成長力)を深化・発展させる一環として、新たに開設する実践的科目(学校教育実践、教材開発研究)を中心として、研究課題に対応した学校等での実践を踏まえた課題設定・探究と教材開発により、自ら「課題探究型学習」を実施し、学習を展開しうる能力形成を図ります。

#### ① 学校教育実践

大学院生それぞれの研究テーマを教育現場との関連においてとらえ、課題に対応した学校等での実践を通じて、教育実践力を高めることを目的とします。

#### ② 教材開発研究

教科の目標と内容及び学習の系統性を踏まえ、児童生徒の発達に応じた教材開発の知識と能力を身につけることを目的とします。

## 「教育課題探究科目」の導入

教育実践力育成の観点から、教科内容や指導法に関する学修を深めるとともに、学校における新しい学びや取り組みへの理解と対応力を育成するため、専修の枠を超えて履修する「教育課題探究科目」群を導入します。大学院生は、修了要件として必要な自由選択科目の中で履修します。なお、この科目群については、専門職学位課程の学生にも修了要件外での履修を推奨します。

(教育課題探究科目の授業科目)

「ESDの理論と実践」、「世界の中の奈良－伝統と継承・発信－」、「新しい学びと授業構成」

## 4. 専門職学位課程の改組の内容

### 学位授与方針（養成する人材像）

専門職学位課程においては、教育実践に関する研究をもとに、修了までに以下の力量を身に付けることを求めます。これらの力量を獲得するとともに、所定の単位を修得し、学位研究報告書の審査及び最終試験に合格した学生に学位を授与します。

1. 学校教育における諸課題に対し、俯瞰的な視点を持って組織的に解決できる力量
2. 専門的知見と高度な実践的指導力を生かし、新しい学校づくりの有力な一員となり得る力量
3. 学習指導、生徒指導、特別な支援を必要とする子どもに対する指導を一体化させて個に応じた指導ができる力量

### 4つの履修コースの設置

現行の「3つの教師像」を再編し、特別支援教育コースを加えた次の4つの履修コースを設置し、教育分野の拡充を行います。履修においては、入学後、自らの関心に応じてコースを選択し、コースの目標として示された資質能力の獲得に向けて授業科目を選択し、目的意識を持った学習を行います。また、「特別支援教育コース」の設置により、特別支援学校教諭一種免許状の取得者で、大学院在学中に必要な単位を取得すれば、特別支援学校教諭専修免許状の取得が可能になります。（現在、文部科学省に特別支援学校教諭専修免許状に係る課程認定申請中であり、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。）

#### ① 学校組織マネジメントコース

- ・児童生徒・保護者、同僚にも自分の指導の方針についてわかりやすく説明できる教師を養成します。
- ・学校組織のマネジメント、学校教育の改革推進、調査研究推進にかかわって、学校のリーダーになれる教師を養成します。

## ② 学習指導コース

- ・学級経営や生徒指導を踏まえて多様な授業（教育）方略を立て、評価し、授業改善に取り組むことのできる教師を養成します。
- ・専門的な知識、技能等を実践の場で多面的に生かし、教科の面白さや有用性を伝えることのできる教師を養成します。

## ③ 生徒指導コース

- ・生徒理解、生徒指導の多様な方法を知っており、実践の場に生かすことができる教師を養成します。
- ・カウンセリング、キャリアガイダンスに関する知見を生かして、児童生徒・保護者、同僚を支援できる教師を養成します。

## ④ 特別支援教育コース

- ・LDやADHD等の発達障害をはじめとする障害のある児童生徒に対応できる知識を持った教師を養成します。
- ・特別なニーズを持つ子どもに対する指導・支援の具体的な方法を学び、特別支援教育に関する高度な実践的力を持った教師を養成します。

## 科目区分の変更（「深化を図る科目」を「現代的教育課題科目」に変更）

専門職学位課程のカリキュラムについて、「共通科目」、「実践科目」は従来どおりとし、「深化を図る科目」を「現代的教育課題科目（特別支援教育に関わる科目を含む。）」に変更し、現代的教育課題への対応をより強化し、複雑化・多様化する課題に対し、それらを探究し、解決できる指導力の育成を図ります。

## 「特別支援学校教諭免許取得プログラム」の設置

特別支援学校教諭一種免許状を取得されていない学生を対象に、長期在学3年コースを設置します。当該コースに入学された場合、1年次には、特別支援学校教諭一種免許状取得に必要な単位を修得し、2年次、3年次には、通常の専門職学位課程（教職大学院）の教育課程を履修します。

なお、修学期間に応じた授業料が必要になります。

(問い合わせ先)

奈良教育大学 教務課 大学院担当

T E L 0742-27-9322

F A X 0742-27-9145

E-mail kyoumu@nara-edu.ac.jp